



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社 ユニカフェ
 コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 芝谷 博司
 (氏名) 新述 孝祐
 TEL 03-4416 8800

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	9,106	18.8	275		275		306	
2022年12月期第3四半期	7,665	31.3	47		44		170	

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 307百万円 (%) 2022年12月期第3四半期 160百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	22.90	
2022年12月期第3四半期	12.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	13,961	6,026	43.2
2022年12月期	13,914	5,817	41.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 6,026百万円 2022年12月期 5,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		8.00	8.00
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,582	17.4	350		348		350		26.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	13,869,200 株	2022年12月期	13,869,200 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	494,600 株	2022年12月期	503,240 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	13,371,231 株	2022年12月期3Q	13,362,408 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見込み等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類変更による経済活動の正常化に向けた動きが見られた一方で、エネルギー及び原材料価格の高騰、急激な為替変動及び世界的な金融引き締め等の影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

コーヒー業界におきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和により、消費は回復基調となっているものの、為替は円安傾向が継続しており、コーヒー生豆調達価格は依然として高値水準となっております。

このような状況下、当社グループは、顧客志向を原点とした提案型の営業に注力してまいりました。この結果、すべての販売セグメントにおいて売上高、取扱数量ともに昨年を上回ることとなりました。また、「Think Globally As a Roastery（コーヒー焙煎のプロとして、地球規模で考えよ）」というスローガンの基に、サステナビリティ推進室の新設やコーヒー生産国への苗木寄贈プロジェクト「Seeding for the future～未来への種まき～」を発足させるなど、サステナビリティに関する施策を鋭意講じております。

以上の取組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,106百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。また、利益面では営業利益は275百万円（前年同四半期は営業損失47百万円）経常利益は275百万円（前年同四半期は経常損失44百万円）親会社株主に帰属する四半期純利益は306百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失170百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度末より43百万円減少し、8,224百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が50百万円、売掛金が299百万円減少し、商品及び製品が214百万円、その他が90百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末より90百万円増加し、5,737百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が205百万円増加し、無形固定資産が15百万円、投資その他の資産が98百万円減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より47百万円増加し、13,961百万円となりました。

② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度末より490百万円増加し、5,724百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が440百万円、未払法人税等が58百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末より651百万円減少し、2,210百万円となりました。主な要因は、長期借入金が606百万円、退職給付に係る負債が30百万円減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より161百万円減少し、7,935百万円となりました。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より208百万円増加し、6,026百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は43.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回通期の連結業績予想を公表した2023年5月15日時点と比較し、当第3四半期連結累計期間においては、コーヒー生豆調達価格が想定よりも低く推移し、得意先への販売価格も連動した結果、「売上高」は前回公表値を下回る見通しであります。

一方、利益面では、コーヒー生豆調達価格が想定よりも低く推移したことに加え、LNGを主としたエネルギー価格等も下振れとなり、「営業利益」、「経常利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」は前回公表値を上回る見通しであります。

以上を踏まえ、通期連結業績予想の修正を行います。

なお、上記の業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,856,882	3,806,550
受取手形	4,338	4,562
売掛金	3,239,890	2,940,095
商品及び製品	272,470	486,849
仕掛品	31,182	35,830
原材料及び貯蔵品	481,062	478,433
その他	381,899	472,079
貸倒引当金	△327	△287
流動資産合計	8,267,398	8,224,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,049,269	4,023,297
減価償却累計額	△2,443,086	△2,487,646
減損損失累計額	△10,935	△2,202
建物及び構築物 (純額)	1,595,247	1,533,448
機械装置及び運搬具	5,357,446	5,908,734
減価償却累計額	△3,471,437	△3,633,564
減損損失累計額	△246	△246
機械装置及び運搬具 (純額)	1,885,762	2,274,924
土地	1,639,318	1,639,318
リース資産	12,741	12,741
減価償却累計額	△6,583	△6,583
減損損失累計額	△6,158	△6,158
リース資産 (純額)	0	0
建設仮勘定	125,143	1,505
その他	399,759	388,201
減価償却累計額	△312,803	△302,333
減損損失累計額	△47,101	△44,678
その他 (純額)	39,853	41,189
有形固定資産合計	5,285,326	5,490,387
無形固定資産		
ソフトウェア	46,228	30,317
その他	823	823
無形固定資産合計	47,051	31,140
投資その他の資産		
投資有価証券	82,415	82,626
繰延税金資産	41,438	42,922
その他	192,328	92,014
貸倒引当金	△1,435	△1,435
投資その他の資産合計	314,746	216,128
固定資産合計	5,647,124	5,737,656
資産合計	13,914,523	13,961,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,940,041	4,380,946
短期借入金	725,000	725,003
未払金	383,856	361,680
未払法人税等	28,839	87,148
賞与引当金	30,745	70,984
資産除去債務	16,578	—
その他	109,303	99,133
流動負債合計	5,234,364	5,724,897
固定負債		
長期借入金	2,556,250	1,950,000
役員退職慰労引当金	10,311	11,465
退職給付に係る負債	256,171	226,017
その他	39,466	22,750
固定負債合計	2,862,199	2,210,232
負債合計	8,096,564	7,935,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,514,211	2,518,243
資本剰余金	3,689,954	3,587,058
利益剰余金	105,555	411,715
自己株式	△491,741	△492,071
株主資本合計	5,817,980	6,024,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	1,694
その他の包括利益累計額合計	△20	1,694
純資産合計	5,817,959	6,026,641
負債純資産合計	13,914,523	13,961,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,665,217	9,106,777
売上原価	5,983,342	7,142,437
売上総利益	1,681,874	1,964,339
販売費及び一般管理費	1,729,011	1,689,206
営業利益又は営業損失(△)	△47,137	275,133
営業外収益		
受取利息	573	848
受取配当金	1,313	178
受取補償金	11,244	—
受取保険金	—	7,094
助成金収入	485	—
その他	8,923	10,744
営業外収益合計	22,540	18,866
営業外費用		
支払利息	20,032	16,062
その他	72	2,616
営業外費用合計	20,104	18,678
経常利益又は経常損失(△)	△44,700	275,321
特別利益		
投資有価証券売却益	—	110,400
関係会社株式売却益	7,390	—
固定資産売却益	—	316
特別利益合計	7,390	110,716
特別損失		
固定資産除却損	15,290	10,279
特別損失合計	15,290	10,279
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△52,601	375,757
法人税、住民税及び事業税	△7,617	71,839
法人税等調整額	125,733	△2,241
法人税等合計	118,116	69,598
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170,717	306,159
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△170,717	306,159

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△170,717	306,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,159	1,715
その他の包括利益合計	10,159	1,715
四半期包括利益	△160,558	307,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,558	307,875

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の算定については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。